

| |
|----------------------|
| 教育こども常任委員会 所管事務報告 |
| 資 料 |
| 令和7年6月6日 |

※報告日までは外部への
資料提供はご遠慮ください。

中学校部活動地域展開の推進状況について

教育委員会 学校教育部 学校教育課

産業文化局 文化スポーツ部 文化スポーツ課

中学校部活動地域展開の推進状況について

1 現状

少子化の進行により、部活動を従前と同様の体制で運営することが年々難しくなっている。本市においても、令和元年度から6年度までの間に部活動の入部生徒数がおよそ千人減少しており、廃部や少人数のため試合に出場できなくなる部が生じるなど、今後さらに部活動の維持が困難になる見込みである。また、専門性や意思に関わらず教師が顧問を務めるこれまでの指導体制を継続することは、学校の働き方改革を通じた学校教育の質の向上を図る中、より一層厳しくなっている。



そこで、西宮市では、これまで部活動が担ってきた教育的意義を含むスポーツ・文化芸術活動の役割や意義を継承・発展させ、将来にわたり継続して親しむことができる「プレイにしのみや（プレみや）」という新たな地域クラブ活動の環境整備に取り組んでいる。これにより、子供から大人まで幅広い世代が自ら主体的に選択し、希望するスポーツ・文化芸術活動を楽しめる機会の確保を目指している。

その一環として、子供たちの活動の受け皿を確保するため令和7年1月から実施した第一次プレみやクラブ募集では182活動を登録した。

今後も中学生をはじめとする子供たちの健全な育成環境を維持・発展させるため、関係団体と調整を行いながらプレみやクラブの募集を順次行うとともに、指導を希望する教員がプレみやクラブでの活動に円滑に携わるための方策を実施するなどし、個々のニーズに合わせた多様で豊かな活動が実現できるよう受け皿作りに取り組む。

また、プレみやクラブの登録状況などを踏まえて、必要に応じて市も関わりながら活動の選択肢の確保に努めるとともに、プレみやに関する専用のホームページを立ち上げ、積極的に情報発信を行っていくことなどにより、生徒や保護者が現在の部活動に安心して取り組むことができるよう努める。

2 第一次プレみやクラブ募集の実施結果

募集期間：令和7年1月24日から令和7年3月28日まで

登録数：182活動（スポーツ138活動、文化芸術44活動）

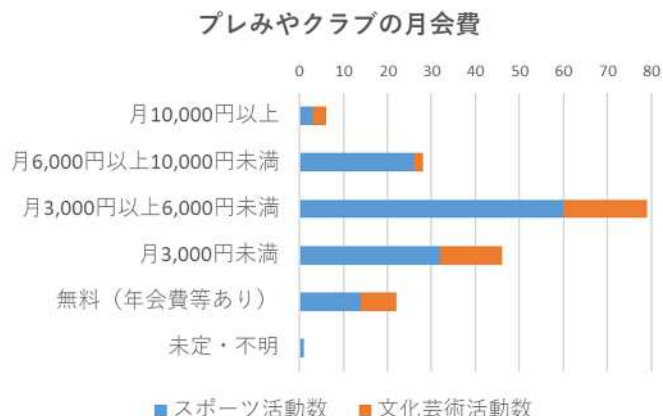
| ■主なスポーツ活動 | | ※数字は活動数 | | | |
|-------------|----|---------------------|----|-----------------|----|
| 陸上競技 | 3 | 軟式テニス・硬式テニス | 8 | 空手 | 6 |
| 軟式野球・硬式野球 | 4 | バドミントン | 5 | 柔道 | 3 |
| サッカー・フットサル | 15 | 水泳 | 5 | 剣道 | 6 |
| バスケットボール | 32 | 各種ダンス | 16 | テコンドー | 3 |
| バレーボール | 7 | | | | |
| ■主な文化芸術活動 | | ※数字は活動数 | | | |
| 吹奏楽・ジャズバンド | 8 | PC & AI・ロボットプログラミング | 3 | ボーイスカウト・ガールスカウト | 11 |
| 合唱・ボーカル、ギター | 3 | ボランティア、防災減災活動 | 3 | | |

※このほか、マルチスポーツ、車いすバスケ、料理、お菓子作り、ガーデニングなど従来の中学校部活動にない活動も複数登録

■教員が指導者のプレみやクラブ 13活動

（吹奏楽6、バドミントン2、陸上、バレー、剣道等）

- 月会費は 3,000 円～6,000 円が最も多く 79 活動
6,000 円以内の活動が約 80%



3 プレミアへの展開に向けた今後の対応

(1) 活動の受け皿（プレミアクラブ）の確保

○複数回のプレミアクラブ募集実施

- ・ 子供たちのニーズを踏まえ、活動の選択肢をたくさん用意できるよう複数回に渡り募集する
(概ね3ヶ月間隔での実施を想定：5，8，11，2月)
- ・ 令和8年4月の新入生入学時までにはプレミアクラブを一定確保する

○地域や種目（ジャンル）の偏在への対応

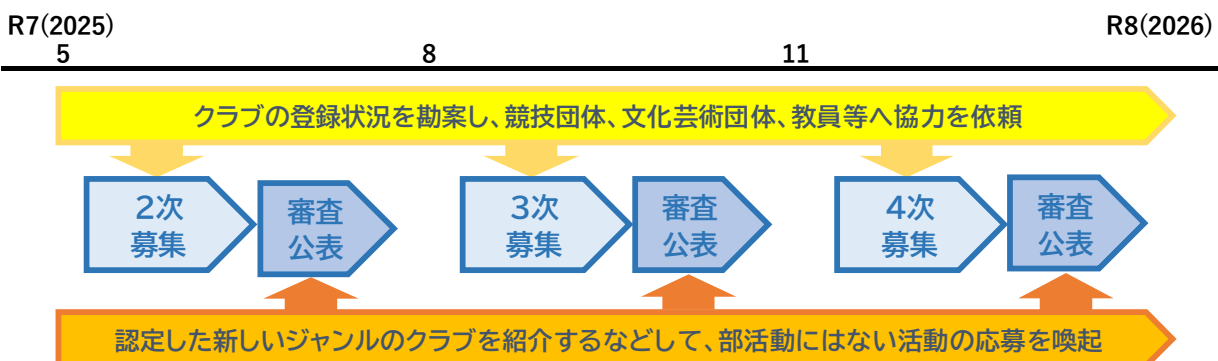
- ・ 地域や体育協会傘下の競技団体等に丁寧な説明を行い、協力を呼び掛ける。第二次募集では第一次募集の結果を受けて、陸上、卓球、野球などの応募につながるよう関係団体に働きかける
- ・ 学校の文化部長顧問から聴き取りを行い、文化芸術団体等との連携方策を検討、地域展開に向けたコーディネートを行う
- ・ 中学校在学中にプレミアへの展開を迎える生徒が引退まで安心して活動に取り組むために、現行の部活動でも大半の中学校に設置されており、部員数も多い種目で、今後の募集後もプレミアクラブの登録がない場合でも地域で活動を継続できるよう、補完的に統括団体（※）が直営で運営するプレミアクラブの設立を検討するなど、必要に応じて市も関わりながら、子供たちの活動の選択肢の確保に努める

※統括団体 …西宮市における部活動地域展開の円滑な推進のため、プレミアクラブ(実施主体)の量の確保と質の向上を図り、市や学校、関係団体の調整を担う団体。プレミアクラブの募集、登録、広報や学校施設の利用調整、指導者人材バンクの運営、各種研修や相談窓口設置等を行う(公益財団法人西宮スポーツセンターを予定)

○子供たちのニーズに合う新しい活動の充実

- ・ アンケート結果を公表し、子供たちのニーズを踏まえた選択肢の充実を図る
- ・ 第一次募集で登録したクラブを紹介するなどして、部活動にはない新しいジャンルの活動の応募を喚起する(料理、ロボットプログラミング、ガーデニング、車いすバスケットなど)

令和7年度のプレミアクラブ募集スケジュール(予定)



(2) 平日の展開時期の決定

■ 休日の学校部活動 … 令和 8 年 9 月に地域展開

■ 平日の学校部活動 … 令和 8 年 9 月に休日の学校部活動と合わせて地域展開する

※原則として令和 8 年 8 月をもって学校部活動は終了。ただし、大会、コンクールへの参加状況や 3 年生の引退時期等の観点から一部の部活動は終了時期を柔軟に対応

- ・ 予算成立後に実施する部活動地域移行推進協議会にて市の方針を報告し決定
- ・ クラブの登録状況などにより、必要に応じて補完的に直営での premi やクラブの運営を検討するなどして活動の選択肢の確保に努め、円滑な地域展開を図る

○平日・休日を同時展開する背景

①令和 6 年 12 月「地域スポーツ・文化芸術創造と部活動改革に関する実行会議」中間とりまとめ「平日については、次期改革期間において各種課題を解決しつつ更なる改革を推進する。地方公共団体においては、平日・休日を通した活動を包括的に企画・調整しつつ、地域の実情等に応じた取組を進めることとする。」

②本市以外の阪神間 6 市 1 町及び神戸市は、平日と休日の同時展開を表明している

阪神間の自治体・神戸市の平日の部活動の展開時期

| 芦屋市 | 尼崎市 | 伊丹市 | 川西市 | 三田市 | 宝塚市 | 猪名川町 | 神戸市 |
|----------------|-------|-------|-------|-------------|-------------|-------|------|
| R8.7 ～R8.10 | R9年度末 | R8年度中 | R7年度末 | R8年度 (※) | R8年度 (※) | R7年度末 | R8.9 |

※3年生引退時

③ premi やクラブの登録を検討する地域団体、民間事業者から「活動計画や収支を含めた団体運営を考える上では平日を含めた展開が望ましい」との声がある

④ premi やクラブ第一次募集で登録された活動のうち、8 割以上が平日も含めた活動を計画している

⑤ 学校教員で組織された「平日の部活動検討委員会」では、平日の受け皿が確保できるのであれば、平日・休日同時展開が望ましいとの方向性が示された。また、令和 7 年 3 月 18 日に開催した「部活動地域移行推進協議会」でも同時展開が望ましいとの声が複数あげられた

平日回数別 premi やクラブ活動数（第一次募集）

| 平日回数 | スポーツ | 文化 | 計 |
|------|------|----|-----|
| 0 | 16 | 6 | 22 |
| 1 | 32 | 10 | 42 |
| 2 | 41 | 2 | 43 |
| 3 | 24 | 2 | 26 |
| 4 | 16 | 6 | 22 |
| 5 | 9 | 18 | 27 |
| 活動数計 | 138 | 44 | 182 |
| 平日計 | 122 | 38 | 160 |

平日も含めた活動の割合 87.91 %

○平日・休日を同時展開する理由

①所属チームや指導者が異なることにより生じる混乱を回避する

- ・ 所属チームや指導者によって活動方針等が異なる状況は、子供、premi やクラブ、教職員などいずれにも混乱を生じさせる恐れがある
- ・ 平日、休日それぞれの活動や大会への参加について、学校と premi やクラブ間の調整や連携が煩雑になる恐れがある
- ・ 保護者アンケートでも「子供が戸惑いや混乱なく参加できること」を重視する声が多い

②展開時期に生じる影響を最小限（同時期＝1 回）にする

- ・ 展開時期は、学校だけでなく premi やクラブ等各方面において調整等が負担になり、子供にも何らかの影響や負荷を与える可能性がある。段階的に展開した場合は展開時期が 2 回に増え、その都度負担や負荷が発生する

③多様な受け皿確保につながる

- ・ プレみやクラブの登録を検討する地域団体や民間事業者にとって、団体運営を考えるにおいて平日も含めた活動ができるか否かで活動計画や指導体制が変わるため、収支等を検討するための重要な要素となっている → プレみやクラブへの登録申請の判断に大きく影響している
- ・ 今後のプレみやクラブ募集でも平日を含めた活動の受け皿としての応募を呼びかけ充実を図る

(3)『新たな地域クラブ活動「プレみや」の基本方針』の改定

- ・ プレみやクラブに共有するスポーツ・文化芸術活動の役割や意義を明示する
- プレみやクラブも教育的意義を含めたスポーツ・文化芸術活動に期待される役割や意義を共有し活動に取り組む。統括団体が実施する指導者向けの研修において、技量の向上だけでなく、スポーツや文化芸術活動を通じた人間的な成長という観点も踏まえて指導を行うよう促す
- ・ 平日の学校部活動の展開時期を明記する
 - ・ その他、所要の改正を行う

(4) 学校・教員の関わり

○児童生徒や保護者への周知

- ・ 児童生徒が興味や関心に応じて希望する活動を選べるように、地域で実施されているスポーツ・文化芸術活動の内容等を周知する
- 現場の教員一人一人がプレみやを理解し、児童生徒や保護者、地域に十分な説明ができるよう、部活動地域移行推進プロジェクトチームによる学校訪問を実施（4/22～5/30）

○兼職兼業でのプレみやクラブへの従事

- ・ 人材バンクの活用による教員の協力を必要とするプレみやクラブとのマッチングや、教員によるプレみやクラブ立ち上げのためのマニュアル整備など、活動支援を実施する
- ・ 各競技、活動の顧問会を実施し、子供たちの今後の活動の在り方を検討するとともに、教員の声を聴き取り、支援の在り方を検討する

(5) 生活困窮世帯の支援

○ワーキングチームによる支援の在り方の検討

- ・ 家庭の経済格差が生徒の体験格差を広げる原因にならないよう、生活困窮世帯の生徒への支援を検討する
- ・ 福祉行政やシステム関連など、関係各課の担当者によるワーキングチームを組織し、支援内容、申請方法、事務処理、システム導入、予算計上等について詳細を検討する
- ・ 生活困窮世帯支援施策や体験格差解消施策の先進事例を学ぶため、視察等を実施する

(6) 中学生・保護者をはじめとする市民への広報・理解促進

○プレみやクラブ紹介用ホームページの開設

- ・ 登録したプレみやクラブの活動内容や方針等、クラブ選択の際に必要な情報を分かりやすく掲載し、種目別や地域別で容易に検索できるホームページを開設する（統括団体によって管理運営）

○小・中学生にも親しみやすいパンフレットの作成・配布

- ・イラスト等を活用した、小・中学生にとって親しみやすいパンフレットを作成・配布することによって、プレミヤへの理解促進を図る

○プレミヤ広報用動画の作成（国の実証事業として実施）

- ・プレミヤの概要説明や、体験会開催の様子を撮影した広報用動画を作成し、プレミヤクラブ活動を視覚的により分かりやすく紹介する

○体験会やプレミヤクラブ活動の先行実施

- ・子供たちがプレミヤクラブ活動を実際に体験することによって、所属クラブを安心して選択し、参加できるような機会を提供する
- ・希望団体による中学校施設を使用したプレミヤクラブ活動の先行実施を行うことで成果や課題を抽出する

（７）活動場所等の確保

○学校施設利用調整のための施設予約システムの導入

- ・円滑な利用調整のため、施設予約システムを導入する

○施設利用に向けたルール等の整理及び施設整備

- ・利用調整や利用ルールの整理、施設開放利用の手引きを作成する
- ・施設・設備破損等トラブル発生時の対応マニュアル（統括団体・学校の役割）を整備する
- ・学校施設開放事業（SC21と同様）として整理し、規則改正や運営委員会の設置に向けた調整を行う
- ・現場を調査し、施設管理上必要な工事等の検討を進める

○学校施設使用料の検討

- ・プレミヤクラブの施設使用料については、他の地域団体と同様、免除の方向で検討する

○備品の取り扱いの検討

- ・学校教育活動で使用しない備品（吹奏楽の楽器等）の効率的な管理方法を検討する

（８）学校教育の充実

部活動の地域展開によって、部活動の指導を担っていた教員は放課後に時間的な余裕が生まれる。この変化を活かし、以下のようなきめ細かい生徒や保護者への対応などにより、学校教育のさらなる充実を図っていく

○質の高い授業の実現

- ・教材研究を含む授業準備が充実し、生徒の実態を踏まえたより魅力的で質の高い授業を展開する

○学習支援の充実

- ・授業内容に関する生徒の質問に丁寧に対応するなど、学習面でつまずきのある生徒への学習支援を強化する

○生徒との関係性の深化

- ・教員と生徒や保護者との対話や相談の機会を確保しやすくなり、生徒や保護者の悩みなどへの早期対応や、よりきめ細かな支援を図る

以 上